

告知・周知原稿

読売新聞 掲載 告知・周知原稿

- (全五段掲載) 2011年12月12日(月) 夕刊、12月21日(水) 朝刊
- (半五段掲載) 2011年12月16日(金) 夕刊、12月22日(木) 夕刊

第7回 医療機器市民フォーラム

骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折

「骨の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

2012年1月14日(土) 13:00~16:20 (開場12:00)

会場 **よみうりホール(有楽町)** 東京都千代田区有楽町1-11-1
販売会館7階(B2階~6階 ビックカメラ)

骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折。決して他人事ではないこれら「骨の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは専門医が「骨の病気」の予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

参加無料

(定員) 800名

申し込み方法

本フォーラムの参加については、以下の3つの方法でお申し込みできます。郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、参加希望人数を明記の上、ご応募ください。

- 1.ハガキ 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-1 「医療機器市民フォーラム」事務局
- 2.FAX 03-5435-9972
- 3.インターネット フォーラム事務局ホームページ ▶ <http://www.smet.jp/forum/>
医療連ホームページ ▶ <http://www.jfmda.gr.jp/metis/event/>

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

申込締切 2012年1月5日(木) 必着

※お申し込みの場には必ずお名前、お住所、お電話番号、お申し込みの人数を明記し、お申し込みください。

プログラム

13:00~13:05 開会挨拶
13:05~13:25 プログラムコーディネーター挨拶
13:25~14:25 第1部:講演(骨粗鬆症、変形性膝関節症)
14:25~14:40 休憩
14:40~16:20 第2部:パネルディスカッション
コーディネーター:前野一雄氏(読売新聞編集委員/METIS委員)

プログラムコーディネーター

岩本 幸英氏
公益社団法人 日本整形外科科学会理事、九州大学大学院医学研究科 整形外科 教授
1978年 九州大学医学部卒業、九州大学大学院博士課程修了、米國NIH(国立衛生研究所)留学、九州大学整形外科教授を経て、1996年より現職。2008年 日本整形外科科学会副会長、アジア・太平洋整形外科科学会代表、2011日より日本整形外科科学会理事に就任。

講演者・パネリスト

遠藤 直人氏
新潟大学大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野 教授
1980年 新潟大学医学部卒業、1981年 山形県鶴岡市立市内総合病院外科、1982年 新潟県長岡市立中央病院整形外科、1987年 新潟大学医学部整形外科、1990年 新潟中央市民病院整形外科、2000年より現職。2007年より日本骨科学会理事、2010年 医学博士、2000年よりAD 財団(国際的骨研究グループ)理事、現在 ADThames Asia Pacific会長。

齋藤 知行氏
横浜市立大学 整形外科 教授
1979年 横浜市立大学医学部医学科卒業、1982年 町田市市民病院勤務、1984年 横浜市立大学整形外科 助手、1988年 アーロン・ヘンソン大学 (Rheumatic Foundation Hospital) 客員、1991年 米国Case Western Reserve大学 Skeletal Research Center 客員、1993年 横浜市立大学整形外科 講師、1997年 横浜市立大学整形外科 助教授、2002年より現職。

パネリスト

田中 正氏
読売新聞社顧問 読売中央病院 副院長
千葉大学医学部 臨床教授
1974年 千葉大学医学部卒業、整形外科入局、1979年 カナダオタワ大学留学、1985年 千葉大学医学部整形外科、1986年 読売中央市民病院整形外科、2000年より現職。2007年より日本骨科学会理事、2010年 医学博士、2000年よりAD 財団(国際的骨研究グループ)理事、現在 ADThames Asia Pacific副会長。

高橋 和久氏
千葉大学大学院医学研究科 整形外科 教授
1976年 千葉大学医学部卒業、1985年 文部省 千葉大学工学部工学部助教授、1994年 文部省 千葉大学工学部工学部助教授、2003年 文部省工学部工学部助教授、2005年 千葉大学工学部工学部助教授、2008年 千葉大学工学部工学部助教授、2011年 千葉大学工学部工学部助教授、2012年 千葉大学工学部工学部助教授。

主催 医療連 日本医療機器産業連合会 JMDA The Japan Association of Medical Device Associations 医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)

後援 内閣府、厚生労働省、経済産業省、文部科学省

特別協賛 日本光電 TERUMO サフアロール・ヘルズ OLYMPUS

日本医療器材工業会、(社)日本画像医療システム工業会、(社)電子情報技術産業協会

(全五段原稿)

周知チラシ

第7回 医療機器市民フォーラム

(骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折)

「骨の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折。決して他人事ではないこれら「骨の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは専門医が「骨の病気」の予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

参加無料 (定員) 800名

2012年1月14日(土) 13:00~16:20 (開場12:00)

会場 **よみうりホール(有楽町)** 東京都千代田区有楽町1-11-1
販売会館7階(B2階~6階 ビックカメラ)

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~13:25 プログラムコーディネーター挨拶

13:25~14:25 第1部:講演

14:25~14:40 休憩

14:40~16:20 第2部:パネルディスカッション

コーディネーター:前野一雄氏(読売新聞編集委員/METIS委員)

岩本 幸英氏

公益社団法人 日本整形外科科学会理事
九州大学大学院医学研究科 整形外科 教授

遠藤 直人氏

新潟大学大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野 教授

齋藤 知行氏

横浜市立大学 整形外科 教授

田中 正氏

読売新聞社顧問 読売中央病院 副院長
千葉大学医学部 臨床教授

高橋 和久氏

千葉大学大学院医学研究科 整形外科 教授

主催 医療連 日本医療機器産業連合会 JMDA 医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)

後援 内閣府、厚生労働省、経済産業省、文部科学省

特別協賛 日本光電 TERUMO サフアロール・ヘルズ OLYMPUS

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

(表)

第7回 医療機器市民フォーラム

(骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折)

「骨の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

骨粗鬆症、変形性膝関節症、腰痛、骨折。決して他人事ではないこれら「骨の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは専門医が「骨の病気」の予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

参加無料 (定員) 800名

2012年1月14日(土) 13:00~16:20 (開場12:00)

会場 **よみうりホール(有楽町)** 東京都千代田区有楽町1-11-1
販売会館7階(B2階~6階 ビックカメラ)

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~13:25 プログラムコーディネーター挨拶

13:25~14:25 第1部:講演

14:25~14:40 休憩

14:40~16:20 第2部:パネルディスカッション

コーディネーター:前野一雄氏(読売新聞編集委員/METIS委員)

岩本 幸英氏

公益社団法人 日本整形外科科学会理事
九州大学大学院医学研究科 整形外科 教授

遠藤 直人氏

新潟大学大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野 教授

齋藤 知行氏

横浜市立大学 整形外科 教授

田中 正氏

読売新聞社顧問 読売中央病院 副院長
千葉大学医学部 臨床教授

高橋 和久氏

千葉大学大学院医学研究科 整形外科 教授

主催 医療連 日本医療機器産業連合会 JMDA 医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)

後援 内閣府、厚生労働省、経済産業省、文部科学省

特別協賛 日本光電 TERUMO サフアロール・ヘルズ OLYMPUS

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

(裏)

当日配布資料

プログラム

第7回 医療機器市民フォーラム

骨粗鬆症 変形性関節症 腰痛 骨質

「骨の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

プログラム

2012年1月14日(土)

13:00~16:25 (開場12:00)

よみうりホール(有楽町)

東京都千代田区有楽町1-11-1
販売会館7階(B2階~6階 ビックカメラ)

主催 医機連 日本医療機器産業連合会 JFMDA 医療技術産業戦略コンソーシアム (METIS)

協賛 内閣府、厚生労働省、経済産業省、文部科学省

特別協賛 株式会社日立製作所、株式会社日立システムズ、株式会社日立製作所、株式会社日立システムズ、株式会社日立製作所、株式会社日立システムズ

ごあいさつ

「骨の病気」予防・診断・治療の最前線

骨粗鬆症、変形性関節症、腰痛、骨質。病気を予防・診断・治療する上で、これら「骨の病気」に関して、人の関心が高まっています。このフォーラムでは専門医が「骨の病気」の予防や治療の最前線について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

プログラム

12:00~ 開場

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~13:25 プログラムコーディネーター挨拶
岩本 幸英 氏
13:25~14:25 第1部:講演
岩本 幸英 氏
14:40~16:20 第2部:パネルディスカッション
岩本 幸英 氏
16:20~16:25 閉会挨拶

出席者プロフィール

岩本 幸英 氏
岩本 幸英 氏
遠藤 直人 氏
遠藤 直人 氏
齋藤 知行 氏
齋藤 知行 氏
田中 正武 氏
田中 正武 氏
高橋 和久 氏
高橋 和久 氏
前野 一雄 氏
前野 一雄 氏

冊子「私たちの暮らしと医療機器」

私たちの暮らしと医療機器

私たちが暮らす社会には、様々な医療機器が活用されています。その中でも、私たちの暮らしを支えている医療機器の役割は、ますます大きくなってきています。この冊子では、医療機器の役割や、私たちの暮らしに与える影響について、詳しくご紹介します。

医療機器とは？

医療機器とは？

第1章 からだの中の画像を見る！

医療画像診断機器

「からだの中の画像を見る」と聞いて、メスで切開いてからでいいか？とドキッとした。そんなお悩み、医療画像診断機器が解決してくれます。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

手探りだった100年前の診断と治療

「医療画像診断機器」は、からだの中の画像を見ることで、医師が診断するための重要な役割を果たしています。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

日本で生まれた「骨」のレントゲン撮影装置

その頃、レントゲン線がまだ知られていなかった。からだの中の骨の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

私たちの暮らしと医療機器

医療機器とは？

医療機器とは？

第1章 からだの中の画像を見る！

医療画像診断機器

「からだの中の画像を見る」と聞いて、メスで切開いてからでいいか？とドキッとした。そんなお悩み、医療画像診断機器が解決してくれます。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

手探りだった100年前の診断と治療

「医療画像診断機器」は、からだの中の画像を見ることで、医師が診断するための重要な役割を果たしています。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

日本で生まれた「骨」のレントゲン撮影装置

その頃、レントゲン線がまだ知られていなかった。からだの中の骨の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

第1章 からだの中の画像を見る！

医療画像診断機器

「からだの中の画像を見る」と聞いて、メスで切開いてからでいいか？とドキッとした。そんなお悩み、医療画像診断機器が解決してくれます。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

手探りだった100年前の診断と治療

「医療画像診断機器」は、からだの中の画像を見ることで、医師が診断するための重要な役割を果たしています。医療画像診断機器は、からだの中の骨や臓器の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

日本で生まれた「骨」のレントゲン撮影装置

その頃、レントゲン線がまだ知られていなかった。からだの中の骨の動きや状態をリアルタイムで撮影・記録・画像化し、医師が診断するための重要な役割を果たしています。

今までに開催された 医療機器市民フォーラム

| 回数 | 実施時期と会場 | タイトル | プログラム コーディネーター |
|-----|--|--|-------------------------------------|
| 第1回 | 平成18年1月15日 有楽町朝日ホール | 「見つかる! 治る! 最新の医療」 | 国立循環器病センター 北村 惣一郎 氏 |
| 第2回 | 平成19年1月14日 有楽町朝日ホール | 「小さく治そう! 最新の医療」 “医療機器で、小さいうちに診断、 小さく治療” | 国立がんセンター名誉総長 垣添 忠生 氏 |
| 第3回 | 平成20年1月12日 有楽町朝日ホール | 「ある日突然、あなたがケガや 病気に見舞われたら…」 “救急時の医療と医療機器” | 慶應義塾大学医学部教授 相川 直樹 氏 |
| 第4回 | 平成21年1月17日 よみうりホール | 知っておきたい「がん」の話 — 予防・診断・治療の最前線 — | 国立がんセンター名誉総長 垣添 忠生 氏 |
| 第5回 | 平成22年1月23日 よみうりホール | 「頭の病気」 (脳卒中、アルツハイマー病、うつ病) — 予防・診断・治療の最前線 — | 国立国際医療センター総長 桐野 高明 氏 |
| 第6回 | 平成23年1月15日 よみうりホール 平成23年2月5日 名古屋テレピアホール | 「目の病気」 (白内障、緑内障、加齢黄斑変性) — 予防・診断・治療の最前線 — | (財)日本眼科学会理事長 神戸大学大学院教授 根木 昭 氏 |

医療の進歩と医療機器産業の 発展に貢献して

日本医療機器産業連合会（略称：医機連）は、各医療機器業界団体の連合会として医療機器産業界の総意を形成し、これらを社会に発信すると共に、産業界に対してもあるべき方向を示す役割を負うことを目的としております。

医機連は、少子高齢化社会の進展による医療の変化、多様化に呼応して、国民が安心して安全で最適な医療を享受できるよう優れた医療機器・医療技術の開発と供給を通じて、関連する法的・技術的・経済的環境の整備に尽力し、医療の進歩と医療機器産業の発展に貢献することを基本使命としております。

主な事業活動



構成

医機連は、現在 20 団体（参加企業数約 4,900 社）〔設立当初 15 団体（参加企業数約 3,000 社）〕及び当連合会の目的に賛同された賛助会員（130 社を超える企業）で構成されています。



会長 荻野 和郎

事務局：日本医療機器産業連合会（医機連）
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2 飯田橋スクエアビル8階B
TEL. 03-5225-6234 / FAX. 03-3260-9092
HP:<http://www.jfmda.gr.jp>

医機連 加盟団体

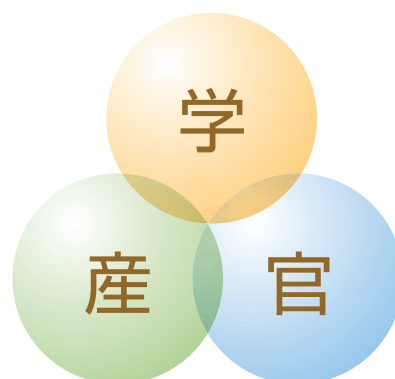
| 団体名(略称) 代表者氏名 | 団体事務所所在地 専務理事 / 事務局長 | 主要取扱製品 |
|--|--|--|
| (社)日本画像医療システム工業会 (JIRA) 会長 加藤 久豊 | 〒112-0004 文京区後楽 2-2-23 住友不動産飯田橋ビル2号館 6F 専務理事 岩永 明男 | 診断用 X 線装置、X 線 CT 装置、MR 装置、 X 線フィルム、他 |
| (社)電子情報技術産業協会 医用電子システム事業委員会 (JEITA) 代表 吉住 実 | 〒100-0004 千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル インダストリー・システム部 部長 立川 明 | 生体現象測定記録装置、映像検査装置、 医療システム、超音波画像診断装置、 他 |
| (社)日本医療機器工業会 (日医工) 理事長 松本 謙一 | 〒113-0033 文京区本郷 3-39-15 医科器械会館 5F 事務局長 山下 克巳 | 麻酔器、人工呼吸器、ペースメーカー、 手術用メス等処置用機器、手術台等施 設用機器、他 |
| 日本医療器材工業会 (医器工) 会長 吉田 安幸 | 〒102-0083 千代田区麴町 3-10-3 神浦麴町ビル 3F 専務理事 千葉 信雄 | ディスプレイ製品(注射器・カテーテル等)、 人工関節、人工骨・材料、人工腎臓装置、透析器、 人工心臓、人工臓腑、人工血管、人工心臓弁、他 |
| 日本医療機器販売業協会 (医器販協) 会長 宮野 淳 | 〒113-0033 文京区本郷 3-39-17 KOGA ビル 4F 専務理事 関根 豊 | 医療機器・医療用品販売業 |
| (社)日本ホームヘルス機器協会 (ホームヘルス) 会長 稲田 二千武 | 〒113-0034 文京区湯島 4-1-11 南山堂ビル 5F 専務理事 水島 忍 | 家庭用低周波治療器、家庭用電位治療 器、家庭用吸入器、家庭用マッサージ器、 他 |
| (社)日本歯科商工協会 (歯科商工) 会長 山中 通三 | 〒111-0056 台東区小島 2-16-14 日本歯科器械会館内 事務局長 野田 穆 | 歯科器械、歯科材料、歯科用薬品(製造、 輸入、流通事業) |
| 日本医用光学機器工業会 (日医光) 会長 服部 真二 | 〒103-0023 中央区日本橋本町 3-1-11 繊維会館 2F 事務局長 北村 栄 | 医用内視鏡、眼科機器、眼鏡レンズ、 眼鏡機器、他 |
| (社)日本分析機器工業会 / 医療機器委員会 (分析工) 委員長 池田 俊幸 | 〒101-0054 千代田区神田錦町 1-12-3 第1アマイビル 3F 事務局長 濱崎 勇二 | 臨床化学自動分析装置、血液検査装置、 検体検査装置、他 |
| (社)日本コンタクトレンズ協会 (コンタクト) 会長 田中英成 | 〒113-0033 文京区本郷 5-1-13 KS ビル 6F 事務局長 柘植 益郎 | コンタクトレンズ、コンタクトレンズ 用ケア用品、他 |
| 日本理学療法機器工業会 (日理機工) 会長 難波 寿美夫 | 〒113-0033 文京区本郷 3-3-1 お茶の水 KS ビル 4F 事務局長 荻原 信夫 | 低周波治療器、温熱療法用機器、マッ サージャー牽引器、他 |
| 日本眼科医療機器協会 (眼医器協) 会長 瀧本 次友 | 〒102-0074 千代田区九段南 2-2-5 九段ビル 9F 事務局長 田村 武 | 眼科用検査器械、眼科用手術器械、他 |
| 日本在宅医療福祉協会 (日在協) 会長 白井 大治郎 | 〒113-8570 文京区湯島 2-31-20 フクダ電子(株)春木町ビル 9F 専務理事 福田 寛 | 在宅医療用具、介護機器、福祉機器、 他 |
| (社)日本補聴器工業会 (日補工) 理事長 赤生 秀一 | 〒101-0047 千代田区内神田 1-7-1 鎌倉橋ビル 5F 事務局次長 八嶋 隆 | 補聴器 |
| 商工組合 東京医療機器協会 (東医協) 理事長 今村 清 | 〒113-0033 文京区本郷 3-39-15 医科器械会館 1F 事務局長 高橋 健次 | 診察・診断用機器、ディスプレイ製品 用品、研究室用機器、医療機器・用具 全般 コンサル、等 |
| (社)日本補聴器販売店協会 (JHIDA) 理事長 鈴木 康介 | 〒101-0047 千代田区内神田 2-11-1 島田ビル 6F 事務局長 福山 邦彦 | 補聴器の販売業 |
| (社)日本衛生材料工業連合会 (日衛連) 会長 天田 忠正 | 〒105-0013 港区浜松町 1-2-3 泉浜松町ビル 1F 専務理事 藤田 直哉 | 医療脱脂綿、医療ガーゼ、生理処理用 タンポン、メディカル用ペーパーシー ツ、救急絆創膏、他 |
| 日本眼内レンズ協会 (眼内レンズ) 会長 小澤 素生 | 〒113-0033 文京区本郷 3-22-5 住友不動産本郷ビル 2F (株)ニデック 医療事業部 東京支店内 事務局長 伊藤 重明 | 眼内レンズ、他 |
| 日本医療用縫合糸協会 (日縫協) 会長 牧 明洋 | 〒101-0065 千代田区西神田 3-5-2 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)内 事務局 村瀬 祐二 | 医療用縫合糸、医療用針付縫合糸、医 療用縫合針、他 |
| 日本コンドーム工業会 (コンドーム工) 会長 岡本 良幸 | 〒113-8710 文京区本郷 3-27-12 オカモト(株)内 事務局長 佐藤 孝治 | 男性用及び女性用コンドーム |

(平成23年12月現在)

“早期発見”と“やさしい治療”を いち早く患者さんのもとへ

医療技術産業戦略コンソーシアム（通称 METIS（メティス））は産官学が連携し、平成 13 年に設立されました。研究開発から実用化までの戦略の検討や、開発インフラの整備等を行なうことにより、日本発の新しい医療機器の開発を推進しています。

また、医療機器の有用性や革新的な医療機器開発の重要性を広く国民の皆様へお伝えすることも本コンソーシアムの重要な役割です。



共同議長

荻野 和郎 日本光電工業(株) 代表取締役会長(医機連会長)
梶谷 文彦 川崎医科大学 名誉教授、川崎医療福祉大学 特任教授、
岡山大学 特命教授、九州大学 客員教授

委員

相川 直樹 慶應義塾大学名誉教授、財団法人 国際医学情報センター名誉顧問
遠藤 啓吾 京都医療科学大学 学長
岡野 光夫 東京女子医科大学 先端生命医学研究所 教授・所長
片岡 一則 東京大学大学院工学系研究科 教授
川上 浩司 京都大学大学院医学研究科 教授
北村惣一郎 独立行政法人 国立循環器病研究センター 名誉総長
桐野 高明 独立行政法人 国立国際医療研究センター 総長
楠岡 英雄 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター 院長
下條 文武 新潟大学 学長
小松 研一 東芝メディカルシステムズ(株) 相談役
佐久間一郎 東京大学大学院工学系研究科 教授
服部 重彦 (株)島津製作所 代表取締役会長
前野 一雄 読売新聞東京本社 編集委員
吉田 安幸 旭化成(株) 取締役専務執行役員
和地 孝 テルモ(株) 名誉会長(医機連前会長)

事務局

(日本医療機器産業連合会 METIS事務局)
原澤 栄志 日本光電工業(株) 取締役専務執行役員
松本 民男 日本医療機器産業連合会 業務部長

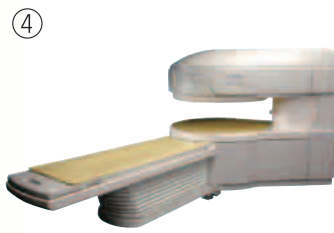
医療技術産業戦略コンソーシアム (METIS)

Medical Engineering Technology Industrial Strategy Consortium
<http://www.jfmda.gr.jp/metis/index.html>

事務局: 日本医療機器産業連合会(医機連)内
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2 飯田橋スクエアビル8階B
TEL. 03-5225-6234 / FAX. 03-3260-9092

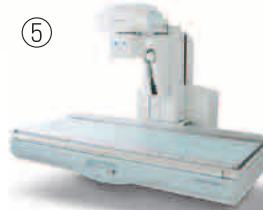
医療機器とは？

次のような多種多様の医療機器が診断・治療に役立っています。



画像医療システム

- ① X線 CT装置
- ② 超音波画像診断装置
- ③ 放射線治療装置
- ④ 診断用磁気共鳴装置 (MRI)
- ⑤ 診断用 X線透視撮影装置
- ⑥ 汎用画像診断装置
ワークステーション

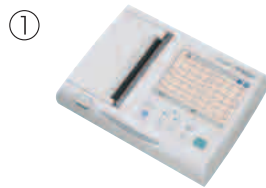


光学機器

- ① 電子内視鏡
(本体/スコープ)
- 眼撮影装置
- 視覚機能
検査用装置

生体現象計測・監視システム

- ① 心電計
- ② 脳波計
- ③ 血圧計
- ④ 生体情報モニタ
- ⑤ 多機能心電計
- ⑥ 光トポグラフィー



○ AED



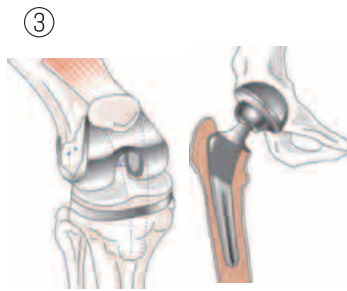
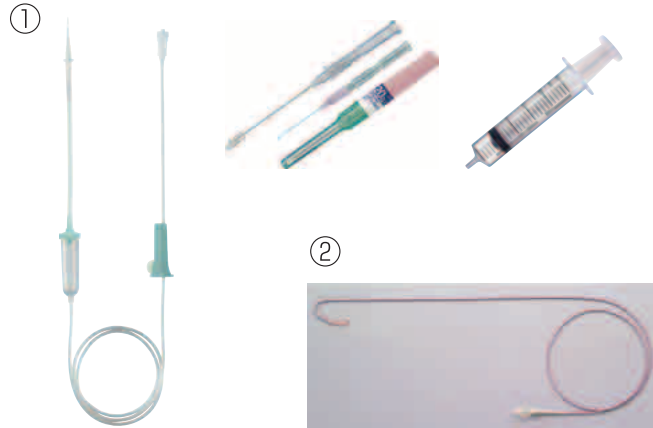


医用検体検査機器

- ①臨床化学自動分析装置
- 尿分析装置
- 医用検体検査機器
- 血球計数装置
- 血液検査機器

処置用機器

- ①注射器具類：輸液セット、留置針
- ②チューブ・カテーテル製品
- 外科・整形外科用手術材料



生体機能補助・代行機器

- ①心臓ペースメーカー
- ②人工呼吸器
- ③人工関節
- ④人工腎臓装置
- ⑤人工心肺装置
- ⑥麻酔器
- ⑦保育器
- ⑧人工補助心臓
- 埋込型除細動器

医療機器とは？

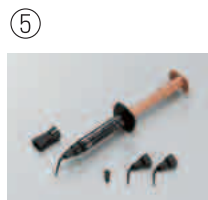
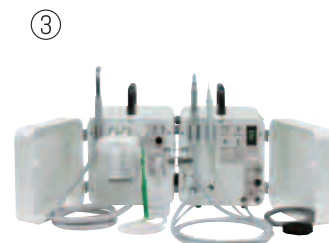
理学療法用機器

- ①自動牽引装置
- ②低周波治療器
- レーザー治療器
- 赤外線治療器
- 超音波治療器
- マッサージ器



歯科用器材

- ①歯科医学用画像診断装置
- ②歯科用レーザー装置
- ③在宅歯科診療用ユニット
- ④歯科用CAD/CAM・セラミックス(ジルコニア)
- ⑤歯科用接着性充填材
- 歯科診療室用機器
- 歯科診療用機器



鋼製器具

- ①ピンセット・鉗子類
- 切断・切削器具
- 整形外科手術用
- 器械器具



施設用機器

- ①滅菌装置
- ②洗浄装置
- ③熱傷治療機器
- 医療用吸引器
- 医療用照明器
- 手術台



①



②



③



眼科用品

- ① 視覚機能検査用機器
- ② 検眼用品
- ③ コンタクトレンズ
- ④ 眼撮影装置
- ⑤ 眼内レンズ

衛生材料・衛生用品

- ① 医療脱脂綿
- ② 医療ガーゼ
- ③ 救急絆創膏

①



②



③



④



⑤



①



医療用縫合材料

- ① 針付縫合糸
- ② 縫合糸
- ③ 縫合針

②



③



①



家庭用医療機器

- ① 家庭用マッサージ器
- ② 家庭用治療浴装置
- ③ 家庭用超短波治療器

②



③



補聴器

- ① 補聴器

①



<写真提供>

(社) 日本画像医療システム工業会、(社) 電子情報技術産業協会、(社) 日本医療機器工業会
 日本医療器材工業会、(社) 日本ホームヘルス機器協会、日本医用光学機器工業会、(社) 日本歯科商工協会
 (社) 日本分析機器工業会、(社) 日本コンタクトレンズ協会、日本理学療法機器工業会、日本眼科医療機器協会
 (社) 日本補聴器工業会、(社) 日本衛生材料工業連合会、日本医療用縫合糸協会、日本眼内レンズ協会